

2010年 1月16日 (102)

第1章 原子炉スクラム事故

1-1 原子炉スクラム

(B) 主蒸気隔離弁閉の場合

本ドキュメントには、東京電力株式会社またはその他の企業の秘密情報(未特許出願発明、ノウハウ等)が含まれている可能性があります。当社の許可なく本ドキュメントの複製物を作成すること、ならびに本ドキュメントの内容を第三者に開示、公開する行為を禁止します。
東京電力株式会社 原子力運営管理部

主要項目	当直長 (当直副長)	操 作 員 (A)
1. 原子炉スクラム	1. 原子炉スクラム確認	1. 原子炉「スクラム」確認, 報告 (1) 警報 「REACTOR AUTO-SCRAM CHANNEL A」 「REACTOR AUTO-SCRAM CHANNEL B」
6. 原子炉圧力調整	8. SRVによる原子炉圧力制御指示	9. 原子炉圧力上昇時は, SRVを順次「手動開」又は非常用復水器使用により, 原子炉圧力「 Pa」～「 MPa」に維持実施, 報告
7. S/P冷却	9. S/P冷却開始指示	11. 圧力抑制室水温を確認し, CCS A (B) 系にてS/P冷却モード「手動起動」実施, 報告
12. 原子炉減圧	2. 原子炉減圧指示	3. 下記いずれかの方法により原子炉減圧実施, 報告 (1) SRV「手動開」 (2) HPCI系テストラインにて「手動起動」(注水不要な場合) (3) 非常用復水器「使用」 原子炉冷却材温度変化率 55°C/h 以下

本手順書は、事故時運転操作手順書の原子炉スクラム(主蒸気隔離弁閉)対応の手順のうち、非常用復水器及びS/P冷却モードに関する手順の抜粋となります。

本ドキュメントには、東京電力株式会社またはその他の企業の秘密情報(未許出願発明、ノウハウ等)が含まれている可能性があります。当社の許可なく本ドキュメントの複製物を作成すること、ならびに本ドキュメントの内容を第三者に開示、公開する行為を禁止します。
東京電力株式会社 原子力運営管理部

1号機 事故時運転操作手順書
2010年 1月16日 (102)

主要項目	当直長 (当直副長)	操作 員 (A)	操作 員 (B)	備 考
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

1号機 事故時運転操作手順書
2010年 1月16日 (102)

主要項目	当直長 (当直副長)	操作 員 (A)	操作 員 (B)	備 考
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

本ドキュメントには、東京電力株式会社またはその他の企業の秘密情報(未特許)の複製、ノックアウト等)が含まれており、本ドキュメントの複製物を第三者に開示、公開する行為を禁止します。
東京電力株式会社 原子力運営管理部

主要項目	当直長 (当直副長)	操作員 (A)	操作員 (B)	備考
		[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

主要項目	当直長 (当直副長)	操作員 (A)	操作員 (B)	備考
		[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

